

# 「鎖国どころか、世界で二番目に低い関税率だ」と上野議員 日本農業を壊滅させるTPP参加めぐり本格的な議員間討論



文教経済常任委員会は2日、JAえちご上越などが提出した、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加反対を求め、意見書を提出してほしいという請願審査の場において、議会基本条例制定後初めての議員間討論を行いました。

「文が始めた日」として記憶しておきたいと思えます。

委員会では、「食料の安全保障がない、日本農業を守る措置がとられていないなかで参加していいのか。なぜ、TPPでなければならぬのか。韓国も反対だ」（中川幹太議員）、「農業生産額は全体でもトヨタ1社の半分にも満たない。マクロ的には就業者、雇用者をどう守っていくのかも考えなければならぬ。不参加を求めていることは農業の鎖国政策をとれということだ」（古澤弘議員）、「TPPに参加すれば国内の農産物の生産額は4兆5000億円程度減少、食料自給率は40%から13%に低下する。上越市でも条例で食料自給率向上をめざしているが、これでは壊滅する」（上野公悦議員）、「多角的に見ているんな問題がある。農畜産物の自由化で全部だめになったかというところではない。オレنجも牛も残っている。消費者には安くてもいいものを買う権利がある」（永島義雄議員）

もちろん、テーマはTPP交渉に参加すべきか否かです。いままでも総務常任委員会などで議員間討論をやったことがありましたが、この日のように白熱した討論にはなりません。だから、2010年12月2日という日を、「上越市議会において本格的な議員間討論

を、」と宣言しました。そして、草間敏幸議員が「（アメリカなどが日本に参加を求めると今回の事態は）開国を迫る黒船に匹敵する」と発言したことを契機に意見発表から議論を戦わせた場になりました。「鎖国と言われたがそれは違うのではないか。日本の農産物の平均関税率は11・7%、アメリカに次いで世界で2番目に低い。日本は「鎖国」どころか十分開かれている」（上野公悦議員）



【サトイラズ】豆が美味しい季節です。大粒で、砂糖がいらぬほど甘い品種。煮豆にいい。これとは別に、「吉川青大豆」という在来種も注目されています。写真は吉川区尾神にて11月末、撮影。

続き行われることになりました。

【解説】TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は、例外品目なしに100%の貿易自由化を目指し、モノやサービスのほか政府調達や知的財産権など広範な分野を対象とした経済連携協定（EPA）です。シンガポールとニュージーランドの自由貿易協定（FTA）が土台となり、チリとブルネイを加えた4カ国の協定として、2006年5月に発効しました。現在、米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5カ国の参加をめざし、原加盟4カ国を含めた9カ国が交渉中です。

## （上越市議会基本条例で定めた議会の活動原則）

- 第2条 議会は、次に掲げる原則に基づき活動しなければならない。
- (1) 公正性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会を目指すこと。
  - (2) 議決責任を深く認識し、市の意思決定を行うとともに、市政の課題並びに議案等の審議及び審査の内容について、市民への説明責任を果たすこと。
  - (3) 市政運営の監視及び評価を行うこと。
  - (4) 政策立案及び政策提言に取り組むこと。
  - (5) 議員発議による条例制定に取り組むなど、立法機能の発揮に努めること。
  - (6) 市民の多様な意見を的確に把握し、市政及び議会運営に反映させること。
  - (7) 議員間の自由闊達な議論により、市政の課題に関する論点及び争点を明らかにすること。
  - (8) 議会の役割を追求し、不断の議会改革に努めること。

この請願審査は14日の休会日に引き



「千原橋」と書いて「ちはらばし」と読みます。大島区の中心部を流れる保倉川にかかった橋です。平成3年6月、大島村（現在の大島区）は音楽の村づくりを宣言しました。橋の近くには音楽活動の拠点のひとつになっている新堀芸術学院があります。ゆっくり流れるうろこ雲の下にある橋と赤い欄干、素敵でした。橋長は約30メートル。竣工は1980年（昭和55年）11月です。



先日、二日間にわたって木枯らしが吹きまわりました。木々に残っていた葉はちぎり取られ、飛ばされました。この強引な葉落としによって、雑木林の木は丸裸です。葉がなくなると、周りの景色はがらりと変わりました。

風に激しく揺さぶられたにもかかわらず、一枚だけ葉の残っているコナラの木がありました。わが家の牛舎の近くです。葉のそばには小さな袋がぶら下がっています。みなさんも見たことがあるでしょう、黄緑色の小さな袋を。ウスタビガの繭です。ウスタビガは夏の間、コナラやクヌギ、サクラなどの葉を食べて生長します。木の葉があるうちは隠れていて見えませんが、落葉後は簡単に確認できます。台風並みの風にもかかわらず、それに耐え残った葉、付け根は繭の糸でくくられていました。それだけではありません。葉の片面には繭の糸がびっしりと張り付いていたのです。

二日目の午前、荒れた天気は少しずつ穏やかになり、落ち着きを取り戻そうとしていました。こうなると、人々は家の中にじっとしていません。

小苗代のHさんもその一人です。りんご配達で訪ねたとき、Hさんの家の裏にある杉林はまだ、風で「ザアザア」という音を立てていました。それでも、杉林の上空にはちよっぴり青空がありました。玄関で声をかけると返事はなく、しばらくたつてからお連れ合いが出てこられました。

「わりかたね。でっけが寝かしつけていたもんだすけ……。じちゃ、ちいさいの、ぶってどこかへ行ったみたい」

子守りがすっかり仕事になっているHさんは、散歩に出かけていたのでした。前日からの強風と雨で道路の姿は一変してしまいました。飛ばされた木の葉やゴミなどがあちこちに散らかっています。落ち葉の中で一番目立つのは杉の葉です。茶色で大きい。そして、道路に張り付いているものがたくさんありました。

東田中のお宮さんの前の通りもそうでした。落ち葉だけでなく、小枝も落ちています。ゆっくりと車を進めていたら、前方から見たことのある人が歩いてきます。わが家の牛舎へ来て、堆肥運びをしていたことがあるSさんでした。

私の顔を見ると、「いや、やっとな歩いてるがど。たまにや、歩かなきゃと思つてさ、家の前の坂とこの坂を歩いてるがさ」。Sさんは私の父と同じ年の人です。元気な姿を見てうらやましくなりました。ほんの一言、二言話をしてSさんは、「いや、めずらしい人にあつた。ありがとうござんした」と挨拶をして別れました。堆肥運びをしていた時と同じように右手をちよつと上げて……。

この日の午後からは青空も広がりました。風の方は相変わらず強めでしたが、前日の台風並みの風に比べればやさしい部類に入ります。私は車に乗って柿崎方面へ出かけることにしました。米山の山頂よりも少し下の方に日が当たっていて、白いものが見えました。とうとう雪が降ったのです。黒川橋を渡ろうとした瞬間、目の前を雁が隊列を組んで飛んでいきました。強い風が吹いていても、クワツ、クワツと鳴きながら、くの字型を維持して飛行する姿に心が躍りました。

木枯らしが吹く季節、荒れる日が多くなるものの、毎日そうなるわけはありません。荒れた後、青空が出るかどうかなど程度の差はあっても、必ず晴れた日がやってきます。それを知っているから、私たちは生きていけるのではないのでしょうか。気温もぐーんと下がって、冬が一気に近づいてきました。

## 上越市議会が北朝鮮による韓国・延坪島への攻撃に抗議決議

上越市議会は7日、北朝鮮による韓国・延坪島への砲撃に抗議する決議を行いました。この決議は、日本共産党議員団の上野議員が議会運営委員会で提案、各会派間で文面を調整して実現したものです。この決議に対して、市政みらい（矢野学代表）は、「こういう問題は地方議会の議決になじまない」との理由で反対しました。他会派は全員賛成でした。決議は以下の通りです。

北朝鮮は11月23日に韓国の延坪島に対して砲撃を行い、韓国軍との間で交戦状態となった。これによって、韓国軍兵士2人と民間人2人が死亡、さらに延坪島の住民にも多数の負傷者が出て、住民1600人が緊急避難する事態となった。

北朝鮮は、砲撃の理由として「韓国軍が北朝鮮の領海で軍事演習を行ったため」だとしているが、この領海の境界線については双方の食い違いがあるにせよ、砲撃を受けた延坪島と同島への航路の領有権は韓国にあることは国際法上でも明らかであり、北朝鮮自身も認めており、それを武力攻撃することは断じて許されるものではない。

民間人が居住する島への無差別の砲撃は、朝鮮戦争の休戦協定はもとより、国連憲章にも、北朝鮮自身が当事者である南北間の諸合意にも反する無法なものである。

上越市議会は、北朝鮮の軍事的行動を強く非難するもの

であり、北朝鮮が攻撃とそれによって生じた被害の責任をとるとともに、軍事行動を繰り返さないことを強く求めるものである。

### 土地開発公社の負の遺産は旧上越市の地域事業費で整理すべき



今後の財政運営の健全化を考えた時、土地開発公社の経営をどうするかは大きな問題です。これまでの市議会の議論の中で、同公社が合併前からかかえている負債は合併前の上越市の地域事業費を充当することが妥当ということを確認してきています。「負債はそれぞれの市町村が責任を持って清算する」という原則は合併協議の総意でもありました。

地域事業は平成26年度までです。今回の第5次総合計画基本計画の変更では、この点を意識した内容変更があるかと期待したのですが、同公社の平成26年度の土地保有額目標数値は62億円、保有額=負債ではないにせよ、負の遺産を地域事業費で早期に解決していこうという姿勢は見られませんでした。私はこの点を厳しく批判しました。